

交換留学帰国報告書

記入月日: 令和2年7月17日

氏名: 加納 優

留学時所属&学年: 国際地域学部4年

留学先大学	ナポリ東洋大学
留学先国	イタリア
留学期間	1学期間
留学開始-終了日	2019年10月1日 - 2020年2月28日

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

帰国報告書 : 公開を 希望します 希望しません

月例報告書 : 公開を 希望します 希望しません

【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

海外留学の経験が無かったので、交換留学のチャンスは必ず掴みたいと考えていました。また20年間実家暮らしで常に周りから支えられて生きてきたため、異国の地でも1人で生き抜く強い力を身につけたいと考えました。

2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

留学先が決まり1カ月ほど経った2019年4月頃から準備を始めました。特にビザ取得のための準備が大変でした。数カ月前から予約をし、必要な書類を集め、7月に大阪の領事館で取得しました。

3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

世界遺産が好きで、世界遺産保有数が世界一位のイタリアにはずっと憧れていました。イタリアは南から北に文化が繁栄した国なので、南部都市ナポリには古くから続く歴史が特に色濃く残っているのではないかと考え、治安の悪さやスリの危険などの怖さも懸念しましたが、行きたいという強い思いが勝り、ナポリ東洋大学を選択しました。

主に、以前ナポリに留学していた友人や先輩に相談するなどして現地の情報収集を行いました。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

.TOEFL ITP を何度か受験しました。対策は、問題に慣れるために、過去問をひたすら繰り返し解くことです。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。

(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

国際課の方や、以前ナポリに留学していた友人や先輩からのアドバイスが非常に役立ちました。また、留学前から連絡をとっていた現地のチューターに、現地に関して気になることがあれば聞いていました。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

英語開講の科目が少なく、多くはイタリア語で授業が行われます。また、単位交換できる科目がほとんどありませんでした。先生たちは英語を話せますが、現地の言葉が分からないと授業についていくのが大変なので、もっと早いうちにイタリア語の勉強をスタートすれば良かったと思いました。

【留学中: 大学生活や日常生活について】

A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

特に縛りはなく、いつ行っても賑やかで自由闊達な雰囲気でした。大学自体は決して綺麗ではないのですが、石造りの壁で囲まれた教室があり、歴史や趣を感じる建物でした。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

Wi-Fi が整っていたそうですが、登録しませんでした。学習支援やスポーツ施設はありませんでした。図書館や自習できるスペースがたくさんあったので、そこでよく勉強していました。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

大学にサークルや部活はありませんでした。

B. 授業や勉強

1. 留学先で履修した科目

1	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名): Lingua Italiana A1 (Luca Colozzo)●時間数/週(単位数): 8 時間●クラスの学生数: 約 20 名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): イタリア語の初級コースで、挨拶や文法の基礎など1から学びます。課題はリーディング・リスニングが主で、次の授業で前回学んだことを会話形式で復習していました。先生はインプットとアウトプットの両方に力を入れてくれるので、学習する度に自分にとって知識がつくのを感じました。最終試験は筆記と口頭がありました。
2	<ul style="list-style-type: none">●科目名(担当教員名): Lingua Cinese (Paternico' Luisa Maria)●時間数/週(単位数): 2 時間●クラスの学生数: 約 50 名●授業内容・課題(予習・復習の方法等): 中国語の文法や読解の授業をイタリア語で受けました。中国語で書かれている板書を先生がイタリア語で説明し、それを英語に訳しながら勉強していました。同時に3言語習得というのは手間や時間がかかり想像以上に大変でしたが、遅れた分は授業後に現地の友人と復習していたので、1人でするより効率よく進めることができました。

2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

授業に置いていかれないように、毎回欠かさず授業の予習と復習をしました。また、ただ知識を詰め込むだけではすぐ忘れてしまうと考え、アウトプットを大事にして、授業中の発言を積極的にするようにし、現地の友人となるべく英語を使わずイタリア語だけで会話するように心掛けました。

3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

教科書も先生の説明も全てイタリア語だったので、ついていくのが大変でした。イタリア人の友人に勉強に付き合ってもらい、1つずつ苦手をなくしていきました。

4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

会話、ディスカッションが中心でした。実用的な会話を教えてくれるので、授業以外にも日常的にたくさん活用できました。先生が、イタリア語で色々な国の人々にその国のことを質問することが多かったため、異文化について知る機会にもなりました。言語と文化が絡み合った面白い授業だという印象を受けました。

5. お薦めの教員や授業などがあれば教えてください。

特にありません

C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他()
部屋人数	(2)人部屋
寮・アパート名	
家賃に含まれた費用	<input checked="" type="checkbox"/> 光熱費 <input checked="" type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他()
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input type="checkbox"/> クローゼット <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (洗濯機)
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) キッチン、トイレ、シャワー、洗濯機

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

家から徒歩 10 分圏内に銀行もスーパーも点在していたので、日常で困ることはありませんでした。

日本食レストランに関しては、食べ放題形式の中華・日本料理店が人気でした。1 度行きましたが、やはり日本食は日本で食べる味が 1 番だなと感じました。現地で日本の食品を買うには少々値段がかかるので、あまり買うことはありませんでした。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

現地で銀行口座は開設していません。キャッシュパスポートを使い ATM から引き出すことで現金を入手していました。持っていたカードはキャッシュパスポートと VISA の2つです。カードが使えない小売店もいくつかあったので、最低限の現金は持つようしていました。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

インスタントの味噌汁やティッシュはたくさん持っていきました。現地のティッシュは、かたくて使い心地が良くなかったので日本から持参してよかったと思います。
 時折日本食が恋しくなることはありましたが、日本から友人や先輩が遊びにきてくれたのでその都度持ってきてもらいました。ですが最低限必要なものは現地のスーパーに揃っているので特に困ることはありませんでした。
 化粧品は、可愛くて日本より安いものが現地にたくさんあるので、あまり持っていく必要がなかったと感じました。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨 = ユーロ)(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	約20万円	食費	約5万円
保険代	約10万円	家賃	約20万円
予防接種・ビザ代	0	教科書代	約1000円
交際費(外食等)	約5万円	その他	

合計: 約60万円

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

ナポリをはじめイタリアはスリの危険が非常に高いので、貴重品を常時見張ることが大事です。夜中は治安の悪さが増すので、特に女性は1人で出歩かず男性についてきてもらうのが安全です。
 またスーパーやタクシーでぼったくりが多発するので、店を出る前にしっかりレシートとお釣りを確認したり、運転手に予め値段を聞いたりするのが良いと思います。

D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

家から徒歩 30 分ほどのところに1つ病院がありましたが、家の近くで病院を見かけることはありませんでした。学内の医療サービスはありませんでした。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

終始健康に過ごしており、通院や入院をすることはありませんでした。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

日本から、風邪薬、頭痛薬、目薬、虫刺され用の薬などを持っていきました。

【留学後：成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

苦境に陥っても諦めない行動力、そして言語力がつきました。私は現地に着いてすぐに2つの壁に直面しました。まず1つは住居探しに苦戦したことです。この、住む家が決まらないことに対する恐怖に加え、最も辛かったのは、言語の壁です。家探しにおいて不動産の人と話をしようにも、言葉が通じないのでなかなか話が進みませんでした。他の大学から来ていた日本人は皆イタリア語を話せたので、自分だけが能力がなく落ちこぼれているように感じ、悔しさと恥ずかしさでいっぱいでした。留学前はイタリア語を勉強するつもりはあまりなかったのですが、そのときに感じた悔しさをバネにして、半年間イタリア語の勉強に励み、日常会話に支障がないレベルにまで成長することができました。自分の力のなさを思い知らされたのは想像以上にきつかったものの、この経験がなければ、私は自分の能力を過信し慢心していたままだったと思います。周りと比べて落ち込んで終わり、ではなく、その悔しさを良い方向に持っていくことができたことは、自分の中で大きな変化だと考えています。

帰国して間もないうちに就職活動が始まったので、自己分析がしっかりできているのか不安を感じていたのですが、そんな心配はいらないくらい、いつの間にかこれらの経験は私にとって大きな自信と自己理解に繋がっていました。たった半年間で、楽しいことや辛いこと、ときには危険な出来事もありましたが、留学でしかできない貴重な経験をたくさん積み、それら全てが私自身の成長の糧となっていたのだと実感しています。この留学で、改めて自分自身を見つめ直すとともに、新しい自分の発見ができました。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

反省点は、時間にルーズになってしまったことです。イタリアは電車やバスが遅れるのが当たり前であったり時間を守らない人が多かったりと時間にルーズな国だと言われています。生活するうちにその文化に慣れてしまい、友人との集まりや授業に遅刻することが何度かありました。海外の良い部分は勿論吸収するべきですが、良くない部分にも影響されてはいけないと思いました。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

イタリアを始め様々な国の世界遺産を訪れたことから、さらに遺産や歴史に対する関心が深まり、帰国後、世界遺産検定2級を取得しました。今後は1級にも挑戦したいです。また、現地で習得した言語の知識をこれからも活用していきたいので、イタリア語検定も取得しようと考えています。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

ナポリというと治安の悪さや危険性といった点で、留学先として選択するのに躊躇する方が多いと思います。私も行く前はそうでした。しかし、ネットの情報を見たり話を聞いたりするだけでは見えてこないもの、実際に現地で生活しないと気付かないものがたくさんあります。「ナポリを見てから死ね」という言葉があるように、直接ナポリの良さ、面白さを感じてほしいです。もし行きたいという思いがあるなら、ぜひ一歩踏み出して、ナポリの魅力を吸収してきてください。困ったことがあっても、周りを見渡せば多くのイタリア人が力になってくれます。1人でナポリに飛び込むことはきっと怖いと思いますが、現地には人情に溢れた温かいイタリア人が大勢いるので、決して独りだと感じることはありません。私の経験やアドバイスが、今後ナポリ留学を考えている人たちへの後押しになれますように！